



ろくのへ 議会だより

第84号

平成27年4月17日発行
●編集/発行●
青森県六戸町議会

六戸町役場



六戸町議会議員(任期 4月30日まで)

3月議会 一般会計 約54億円でスタート… 2P
定例会

一般質問 3名の議員が町政を問う… 8P

六戸町議会報告会開催… 11P

町民の声 七百中学生の思い… 12P

●編集/六戸町議会広報委員会

〒039-2392 青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字前谷地60 TEL:0176-55-3111(代表) FAX:0176-55-3112
ホームページ <http://www.town.rokunohe.aomori.jp> Eメール gikai@town.rokunohe.aomori.jp

620万円スタート

3月定例会が3月6日から12日までの7日間の会期で開催されました。

1日目は、一部事務組合協議会議員による組合議会報告等諸報告のあと、産業民生常任委員会付託案件の委員長報告及び採決、提出議案の一括上程、26年度補正予算6件を審議し、27年度予算8議案の審査を、予算特別委員会を設置し付託しました。4日目に、3議員が一般質問を行い、農業問題、廃屋対策条例制定、地方創生法などを取り上げ、町政をただしました。

5・6日目は、予算特別委員会を開き、一般会計・各特別会計の議案を審査しました。

最終日に、予算特別委員会付託案件の委員長報告及び採決、専決処分の報告1件、条例等の議案12件、26年度一般会計補正予算1件を追加提案し、議員提案の委員会条例改正案、意見書3件をすべて原案のとおり可決・承認し、閉会しました。

当初予算

平成27年度一般会計、各特別会計の8議案は、原案のとおり可決しました。(詳しくは4ページの予算特別委員会をご覧ください。)

補正予算

一般会計など6議案の補正議案は、原案のとおり可決しました。

条例等

条例制定など12議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

●平成27年一般会計予算

一般会計予算は、歳入歳出の予算総額をそれぞれ53億9620万円とし、前年度当初予算と比較して7.9%増となりました。

●平成26年度一般会計補正予算(第6号)

既存の歳入に、地域住民生活等緊急支援助交付金4722万円を追加計上し、歳出では、総合戦略策定事業として938万円、移住促進新築住宅建設補助事業として909万円、福祉商品券給付事業として1081万円、米・畑作物の収入減少影響緩和対策加入推進事業として245万円、プレミアム商品券発行支援事業と

●六戸町学童保育所設置条例の改正

児童福祉法の一部改正に伴い、平成27年4月1日より学童保育所に入所できる者を小学校3年生までを小学校6年生までとする改正です。

各会計補正予算(いずれも全会一致で可決しました)

補正前	補正額	補正後
52億4207万円	△5990万円	51億8217万円
13億4848万円	2395万円	13億7243万円
6億6618万円	0円	6億6618万円
13億1298万円	4254万円	13億5552万円
1億1038万円	△223万円	1億0815万円

平成27年度予算決まる

一般会計 53億9,

議案等審査結果

平成27年第1回定例会

【条例等】

- 青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議について
- 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組規約の変更について
- 六戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴う関係条例の整備等に関する条例案
- 六戸町教育委員会委員長の勤務時間等に関する条例案
- 六戸町職員の自己啓発等休業に関する条例案
- 六戸町手数料条例の一部を改正する条例案
- 六戸町介護保険条例の一部を改正する条例案
- 介護保険法施行規則等の一部を改正する省令の改正に伴う関係条例の整備に関する条例案
- 六戸町学童保育所設置条例の一部を改正する条例案
- 六戸町保育の実施に関する条例を廃止する条例案
- 六戸町道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例案

【予算】

- 平成26年度六戸町一般会計補正予算（第5号）
- 平成26年度六戸町一般会計補正予算（第6号）
- 平成26年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 平成26年度六戸町国民健康保険病院事業特別会計補正予算（第1号）
- 平成26年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 平成26年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- 平成27年度六戸町一般会計予算可決
- 平成27年度六戸町国民健康保険事業特別会計予算
- 平成27年度六戸町国民健康保険病院事業特別会計予算
- 平成27年度六戸町下水道事業特別会計予算可決
- 平成27年度六戸町農業集落排水事業特別会計予算
- 平成27年度六戸町介護保険事業特別会計予算
- 平成27年度六戸町後期高齢者医療特別会計予算
- 平成27年度六戸町霊園事業特別会計予算

【報告】

- 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定）承認

【議員発議】

- 六戸町議会委員会条例の一部を改正する条例案
- ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書提出について
- 「手話言語法」制定を求める意見書提出について
- 政府による緊急の過剰米処理を求める意見書提出について

原案可決＝全会一致

議員発議

議員提案した4議案は、原案のとおり可決しました。

● 陳情・意見書について

◇ ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める陳情書

・ 陳情者

宮城県肝臓病交友会

B型肝炎被害対策東北弁護団

薬害肝炎訴訟東北弁護団

◇ 「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める陳情書

一般社団法人青森県ろうあ会

・ 陳情者

◇ 政府による緊急の過剰米処理を求める陳情書

政府による緊急の過剰米処理を求める陳情書

・ 陳情者

青森県農民運動連合会

← 全て産業民生常任委員会付託

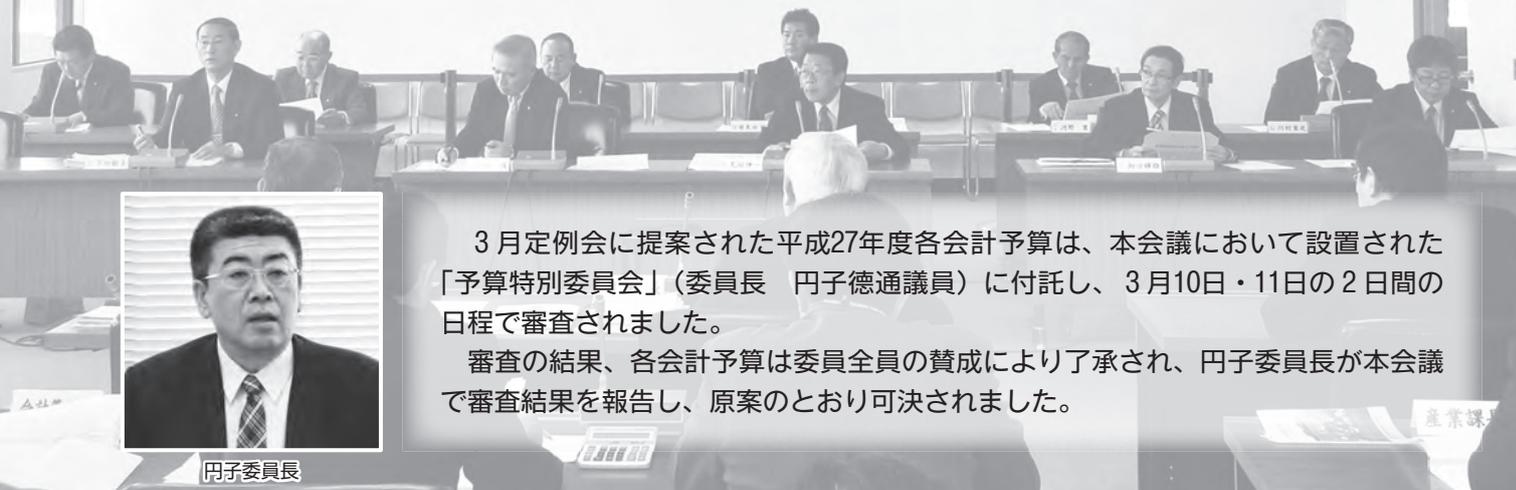
←

平成27年2月4日委員会を開催し審査した結果、採択とし、本定例会へ議員提出議案を提出した。
定例会では、全員一致で可決し、政府関係機関等へ意見書を提出した。

平成26年度

会計名
一般会計
国民健康保険事業特別会計
国民健康保険病院事業特別会計
介護保険事業特別会計
後期高齢者医療特別会計

27年度予算を徹底審査



円子委員長

3月定例会に提案された平成27年度各会計予算は、本会議において設置された「予算特別委員会」（委員長 円子徳通議員）に付託し、3月10日・11日の2日間の日程で審査されました。

審査の結果、各会計予算は委員全員の賛成により了承され、円子委員長が本会議で審査結果を報告し、原案のとおり可決されました。

【平成27年度 各会計予算額】

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年対比	
一般会計	53億9620万円	50億0000万円	+3億9620万円	+7.9%
国民健康保険事業特別会計	15億5887万円	13億4756万円	+2億1131万円	+15.7%
国民健康保険病院事業特別会計	5億9576万円	6億6618万円	-7042万円	-10.6%
下水道事業特別会計	2億9797万円	3億0037万円	-240万円	-0.8%
農業集落排水事業特別会計	1億3586万円	1億3002万円	+584万円	+4.5%
介護保険事業特別会計	14億1694万円	13億0531万円	+1億1163万円	+8.6%
後期高齢者医療特別会計	9727万円	1億1262万円	-1535万円	-13.6%
霊園事業特別会計	929万円	959万円	-30万円	-3.1%
合計	95億0816万円	88億7165万円	6億3651万円	+7.2%

審議内容

一般会計 歳入

■ 下田敏美 委員

地方創生元年であるが、地方交付税を減じた根拠は

■ 棟方企画財政課長

当初予算編成段階では、地方創生関係の交付金は計上していません。今後、国の動向を見ながらの計上となります。

一般会計 歳出

総務費

■ 母良田昭 委員

第4次六戸町総合振興計画後期計画策定を有識者で計画を組んでいるという話があったが、近い将来、選挙権が18歳からになるということで、将来的計画を組むにあたって若い人たちの意見も取り入れ、また、議会からも委員会に入っていたいただきたい

■ 棟方企画財政課長

総合振興計画は10か年ということで平成22年度に策定し、平成27年度で半分が終了とい

うことで、今後の見直しを考えています。

後期は、地方創生とは別枠の策定となるので、議員の意見も今後検討したい。

■ 下田敏美 委員

社会保障・税番号制度対応改修業務の内容と、26年度で減額し、27年度で予算計上した理由は

■ 棟方企画財政課長

事業の内容は主にプログラム修正、システムの改修です。26年度予算の減額は、国の事務が遅れている、26年度で実施できなかったということ。910万円を減額しました。その分を27年度の当初では加算した5300万円ほどを計上しています。

■ 高坂茂 委員

太陽光発電補助は完了したのか

■ 棟方企画財政課長

当初、太陽光発電補助は普及啓発を目的として発足し、3年が経ちました。価格も下がっていますし、国の補助も25年度で終わったこともあり、補助金としての使命は終わったと考えています。

農林水産業費

◎ 久田伸一 委員

青年就農給付金は、26年度6名、27年度9名の予算になっているが、今後、若い後継者が増えていくように考え、町はどのように若者を捉え、この事業を知らせ、産業である農業を振興していくのか。

また、ベジタランドのポスターが何年も同じである。イメージチェンジをしながら野菜の販売の振興を図れないか

◎ 外山産業課長

青年就農給付金制度のPRについては、青年農業従事者43名へ個別に郵送で通知しています。また、説明会も開催し、8名の出席で27年度新たに4名の申込みが確定になっています。今後も周知に努めます。

ベジタランド六戸の写真は、大分古くなっているのですが、関連する予算の中で新たに作成できないか検討していきたい。

◎ 吉田町長

当初予算にはないが、野菜の産地でもあるので、今後の経過をみながら庁舎ロビーのリフォームも考えてみたい。

◎ 高坂茂 委員

多面的機能支払交付金事業の内容は

◎ 外山産業課長

多面的機能支払交付金事業は、農用地の水路、農道等の地域資源の保全・管理等多面的な機能の維持、普及を図るための地域の共同活動を支援するもので、7団体（折茂4、入口1、犬落瀬1、高館1）の交付金を計上しています。この7団体に活動面積300畝の水路の泥上げ、農道の碎石敷き、草刈り等を実施するための交付金です。

土木費

◎ 山本実 委員

生活道路の整備について各町内会から何件要望があるか

◎ 松村建設下水道課長

2団体の町内会から要望があり、現場を見て順位を決め計画的に実施しています。

教育費

◎ 河野豊 委員

運動公園北側（消防署側）のり面草刈業務の件で、シルバー人材と協議をした上で対

処するとしていたが、その後状況は

◎ 川村（政）教育課長

シルバー人材に作業確認したところ、「作業はできません」という回答を受けています。

◎ 高坂茂 委員

七百中学校（講堂）防音事業改築工事とあるが、規模、予算の内容は。また、災害が発生して避難民が出たときの対応も考えて建設していただきたい。

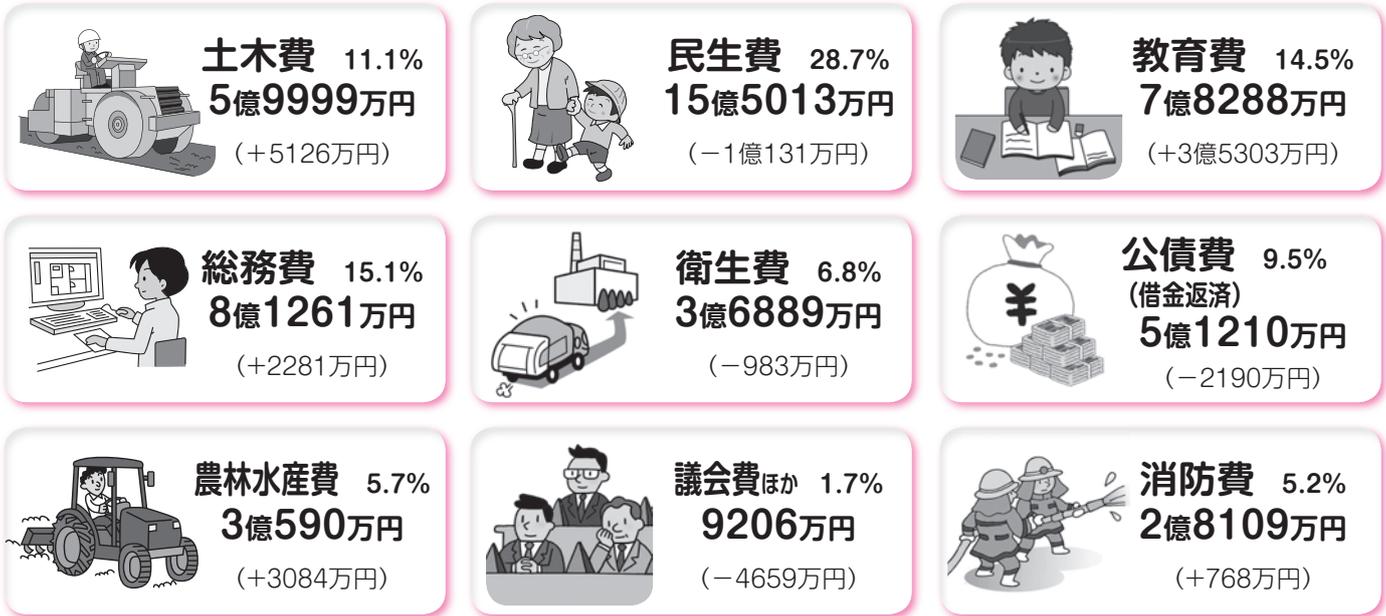
それと、教育・体育施設でも、後で後悔しないよう、出来るだけ立派なものをつくっていただきたい

◎ 川村（政）教育課長

現在の講堂は、昭和44年に建設されたもので、解体工事は7月〜9月、本体工事は10月から平成28年の8月完成の予定です。

この事業は、文部科学省の公立学校施設整備費負担金、学校施設環境改善交付金、さらに防衛施設周辺防音事業補助金が使われます。建物の大きさは、開知小学校の講堂より若干大きいものです。

こんなふうに使われる町の予算 <一般会計の中身> %は構成比 ()内は前年比較



*詳しくは広報ろくのへ4月号2、3ページをご覧ください。

◎ 杉山茂夫 委員

メイプルマラソン大会に他町村、県外からの参加者の宿泊パック等を考えて、町おこしに繋げられないか

◎ 川村(政)教育課長

メイプルマラソンは、県内で年内最後のマラソンということもあり、幼児から大人まで参加いただいています。県外からの参加者は、1割程度です。実行委員会での意見を協議し、より充実したものを考えていきたい。

◎ 川村(政)教育課長

倒壊の恐れがあり、また窓が開くような危険な状態です。

◎ 吉田町長

校長住宅を学童保育としてリフォームを行いました。撤去しておくほうが安全上、よいということでも予算計上しました。土地については、何をやるという目的を町で決めているわけではありません。

特別会計

国保事業

◎ 川村重光 委員

旧折茂小学校校長住宅は、唯一折茂小学校があった証しの建物である。解体理由は、また、今後、土地をどういう方向に考えているか

財源補填繰入金6800万円だが、繰入金というのは健全会計ではないと思う。

健全にするための見通しの説明をしてほしい

◎ 吉田町長

健全になる見通しというのは、国保会計ではないと捉えています。当町に限らず、県を含め全国的に極めて困窮しているのが現実ですし、国のほうでは限度額をもっと引き上げるという話もあります。今のところは、それぞれの部分で負担をしたり繰り入れ

をしながら町民のためにやっていくのが私どもの立場だと考えています。

◎ 川村重光 委員

この先、国保の値上げはあるか

◎ 吉田町長

国としては、限度額の拡大を指導していますので、国保税の負担は増えることが想像されます。

私どもは、その負担をいかに緩和しながらやっていくかということを努力いたします。

◎ 川村重光 委員

国保の財源補填について、一般会計から繰り入れている。しかし、国保と社保があるので整合性が取れないと思うが、どう考えるか

◎ 吉田町長

社保に関しては、社会保障にかかわる部分を共通化するという捉え方をしながらやっていくと聞いています。実際に、統一化によって生まれる差は国保税の枠組みで対応するしかないかと捉えています。この現状を町民の皆さまにご理解をいただきたい。

議会のつどひ (26年12月~27年2月)

26年 12月

1日 議会運営委員会

5日 平成26年第4回議会定例会 9日

5日 青い森信用金庫八戸信友会

16日 総務常任委員会

19日 八戸町農業委員会委員互助会

24日 議会広報委員会

4日 六戸町消防出初式

5日 新年祝賀会

6日 議会広報委員会

9日 議会広報委員会

16日 全員協議会

23日 十和田地区・市交通安全協会並びに交通指導隊の「合同新年会」

27日 三沢地区衛生センター運営協議会

28日 十和田市制施行10周年記念式典

3日 六戸町商工会新春講演会

4日 全員協議会

6日 第4回上北郡町村議会議長会定例会

6日 六戸町教育を語る会

8日 新春芸能発表会

13日 自衛隊入隊予定者激励会

13日 議会報告会

16日 青森県町村議会議長会定期総会

19日 全員協議会

22日 六戸町教育奨励表彰式

22日 六戸町芸術・文化、体育・スポーツ賞合同表彰式



議会報告会の様子

解体が決まった旧折茂小学校校長住宅



問 高坂茂 委員

国保業務が各市町村自治体から県へ移管するのを平成30年と言っていたが、28年と私は記憶している。その点確認したい

答 吉田町長

移管は何年度からと限定した話ではなくて、28年度以降が適当だと審議委員の方々に話し、委員からもそうだと答申をいただいています。

問 下田敏美 委員

湯遊クラブが楽しいと聞く。お年寄りの方々には、楽しみながらの健康づくりは国保会計や病院会計のためにいいのでは。

町長の考えは

答 吉田町長

たしかに、湯遊クラブは非常に好評である。心身健康な方は参加しているが、本来に来てほしい方が参加してないので、どのようにすれば多くの方が参加してくれるかが我々の課題ですので、努力したい。

国保病院事業

問 母良田昭 委員

病院医師が現在2人であるが、早めの増員を要望する

答 吉田町長

要望に沿えるように努力しておりますが、非常に厳しい状況となっております。

問 高坂茂 委員

医師数が減り、診療報酬などが減ると思われるので、これは憂慮すべき事態だと思う。内科医に限らず医師を探してもらいたい

答 吉田町長

27年度から自治体病院の制度が変わり、従来より負担が増えることも考えられます。今後、病院の在り方を含め、医師を探す努力は怠らさずに行っていく。

下水道事業

問 河野豊 委員

下水道の加入率を知りたい

答 松村建設下水道課長

加入率は77%前後です。今年度も何件か増を見て予算計上しています。

農業集落排水事業

問 川村重光 委員

工事請負費のマンホール高さ調整工事だが、苦情があつてから行っているのか

答 松村建設下水道課長

苦情が来てからというのがありますが、パトロールしながら箇所を見つけ、除雪作業への影響もあるので、事前に調整工事をしています。

介護保険事業

問 山本実 委員

介護保険料の見直しを3年に一度行っているが、毎回値上がりしている。

地域福祉基金が約1億7700万円あるが、この基金の設置目的は何か。また、財政運営のための基金活用について尋ねたい

答 川村(星) 福祉課長

地域福祉基金は、地域の高齢者の居宅における福祉の増進にかかわる事業等を行う民間の団体に補助を行うための基金です。

財政運営のための基金繰り入れは認められておりません。

問 山本実 委員

地域福祉基金を介護会計に繰り入れしている市がある。当町でも可能ではないか。町の考えは

答 吉田町長

基金は目的をもつての使用が原則です。基本的なルールに従って運用をしていますので、基金の繰り入れという形は当町では考えていません。

問 高坂茂 委員

介護保険料が概算で前回より上がっている。自治体も努力していると思うが、納める方は年金暮らしの方も多い。値上げに歯止めをかけたいたが、努力によってもう少し減額できないか

答 川村(星) 福祉課長

27・28年度の2年間は若干上がりますが、29年度は低所得者の方で軽減措置が講じら

れ、現在の保険料より低くなります。

保険料をできるだけ抑えるために、一人ひとりが健康で介護の世話にならないように、健康づくりに取り組んでいきたいと考えています。

問 高坂茂 委員

介護の視点のみならず、保険料を抑制するためにも、健康増進対策に取り組んでほしい

答 吉田町長

介護は負担する側、使う側があり、恩恵を受ける確率の高い人が多くいる中で保険料を抑えることは難しいと思います。

介護を受けなくてもいい住民が増えることを望みます。



湯遊クラブでの活動の様子



しもだ としみ 議員
下田 敏美

農家への経営安定対策

米価下落による不安解消の対策は

主食用種子購入に30%を補助 — 町長

問

昔から農家の基幹作物は米で、今も変わりはない。その米が昨年、60kg当たり7300円と前年比3200円の大大幅減収になった。米価下落による米農家への先行き不安解消の対策は

町長

米価下落は、人口減少や食の多様化を背景とした消費減少と過剰在庫が要因となり、今後も米価が低水準で推移する可能性があり、稲作農家にとって、生産意欲の低下が懸念される。対策として、平成27年度予算に主食用種子の購入に30%補助し、生産農家の生産意欲を維持し、米の再生産を確保することになっている。

問

米価下落に対処するためには、コスト低減が考えられる。今後の米農家への指導体制は

町長

稲作農業のコスト低減については、国の「稲作農業の体質強化緊急対策事業」に基づき、米価変動に対応できるように生産コストの低減への取組みを県及び農協等の関係機関と連携して普及推進活動を進めることにしている。

問

米の生産コスト低減のため、農林水産省は今後10年間で全農地面積の8割を担い手に集積するとしている。当町で目標達成できるか

町長

平成25年3月に策定した「人・農地プラン」を推進し、農地中間管理機構とともに担い手の集積に努めて、達成を目標として努力している。

問

津軽に「青天の霹靂」^{へきれき} 県南は取り残された感 県は昨年11月6日、米の新品種として「青天の霹靂」を発表したが、津軽12市町村に限定されている。県南地域が米対策に取り残された感じがする。町長の考えは

町長

「青天の霹靂」は青森県産業技術センターが約10年の歳月を費やし、選抜・育成してきた新品種であり、早期にブランド化を行い、本県の主力品種「つがるロマン」や「まっしぐら」など県産米全体の評価向上を目指していると聞いている。

また、生産者及び生産地には、青森県が策定する栽培マニュアルのつと、登録された生産者及び生産地としている。

津軽中央及び津軽西北の地域に限定されている。町としては、県産米として初めて、参考品種とはいえ食味ランク「特A」を取得した「青天の霹靂」が、今後市場で受ける評価に期待するとともに、試験栽培も含めた栽培地域の拡大や新たな同等以上の品種が、この地域で作付けできるように期待している。



当地域の銘柄米「まっしぐら」



かわの 河野 ゆたか 豊 議員

入札時のダンピング防止策は

最低制限価格を設けて防止している — 町長

問 入札時のダンピング防止策は

町長 低入札については、公共工事の品質低下、労働条件の悪化等につながるため、最低制限価格を設け、ダンピング受注を防止している。

小規模な工事については、通常、最低制限価格を設けていないが、最低落札額に価格等で疑義がある場合は、入札から契約の過程で点検を行い、価格と品質について確認している。

問 300万以下の少額工事には、最低制限価格を設定しない理由は

町長 金額が適正で十分に目的を達せられるか確認をしながらやっています。

企画財政課長 町内の中小業者の活性化と、広く入札に参加していただくことで最低制限価格は設けていません。

問 町内の業者の育成という言葉が出ましたが、逆に厳しい状況になっているのでは

町長 小金額については、どうするか検討はしますがお互いに、適正な価格で落札して頂きたい。

問 補助事業・町単独事業で対策の違いはあるか

町長 補助事業・町単独事業での違いはない。

廃屋対策条例制定

廃屋対策条例を制定しては

条例制定は考えていない — 町長

問 町には環境美化条例があるが、廃屋対策には不十分と思う。

また、人口減少に伴い空き家が増加する傾向にあるが、同時に廃屋も増加してくると思われる。廃屋対策条例の制定が必要と思うが、町長の考えは

町長 町の環境美化条例の目的は、町民、事業者及び土地占有者等の責任と役割を明確にし、それらに対し必

要な協力を要請するものであり、罰則や強制するものではない。

また、廃屋であっても個人の財産ですから、解体、撤去は個人の責務です。景観、安全上問題があると思う場合においては、所有者及び占有者等に通知を出し、それ

相応の対応をお願いすることになるので、今のところ廃屋に関する条例の制定は考えていません。

ただし、国は今年、2月26日に治安や防災上の

問題が懸念される空き家の撤去や利用促進に関する基本指針を公表しているので、それに基づき各自治体は、対策計画等を策定することになると思う。

今後の国の動向を注視し、対応したいと考えている。



こうさか 高坂 しげる 茂 議員

地方創生法

地方版総合戦略への取り組みは

国・県の戦略を勘案しながら策定 — 町長

問

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における当町のビジョンは

町長

第4次六戸町総合振興計画を核とし、独自性を持ち自立する町となるよう検討。

問

若者の雇用と定住対策の考えは

町長

国内外の経済状況とか、その時々状況により大きく変わるため、町だけの施策というより、国関係自治体、民間企業などの動向を見て有効施策を検討したい。

問

人口増を考慮して、Uターン・Iターンの積極的対応は

町長

東京圏から移住希望者への情報提供を行うために、都内に相談窓口と相談員を配置して対応している。

問

2040年には今の自治体半分が消滅するかもというシミュキングなデータがありますが、六戸町の将来の具体的な施策は

町長

六戸町は消滅可能性の自治体には入ってはいませんが、人口減・少子化対策として、家賃補助などの居住支援はもうすでにやっています。

保育所整備など、子育ての環境整備の充実等、改善しながら対応していく。

電子投票

当町の電子投票の是非は

4月の町議選にも実施したいー町長

問

全国でどのくらい自治体が電子投票しているか、また投票システムでの不具合はなかったのか

総務課長

過去において、11の自治体が実施していましたが、現在も実施を予定しているのは当町と岡山県の新見市の2自治体です。当町での過去4回における不具合はありませんでした。

問

電子投票式の選挙費用はどれくらいか、また、機器のレンタル費用他は

総務課長

前回の電子投票では、1729万円掛かっており、委託料（機器レンタル他）は460万円です。

問

電子投票と紙投票との選挙費用の比較は。また、電源が落ちたときの対応は

総務課長

11年前の紙投票での議会選挙との比較ですが、電子投票の方が約500万円程多くかかります。

電源が落ちたときは、車のバッテリーでの対応が可能なおと、非常用電源を用意している公民館もありますので問題はありませぬ。

問

機械のトラブルは常につきもので、また、経費的に自書式のほうが安く済むと考えます。

町長

基本的な現段階で戻す気はありません。当初は国の方針でスタートした経緯もあります。

また、電子投票は無効票もなく、自書式に比べ投票がしやすいこと、住民にも浸透していること。なお、アンケートからも利便性が理解されていることからです。



平成26年度 議会報告会開催

町民約80名が参加



平成27年2月13日、町文化ホールにおいて、町民を対象に平成26年度議会報告会を開催した。町議会議員12名が、六戸町議会基本条例や各常任委員会などの活動の説明をし、町民と意見交換をした。

意見・要望

議会報告会の内容等についての意見・要望

- 地方分権をすすめるには地域住民への情報公開と説明責任が不可欠です。六戸町の議会の取り組みが近隣の自治体に良い影響を与えてくれることを期待します。
- 議員報酬が少し高いのではないかと。
- もっと参加者数を増やす。募集方法を考えてください。
- 議会報告会は続けてほしい。積極的な活動に期待したい。議員報酬は安いと思います。
- 各委員会活動は立派です。心強く感じました。今後とも町民のため宜しく頑張ってください。
- 議員は町で起こっていることやイベントなど自分の目ではつきり見てほしい。
- 質疑をする方は、もう少し質問の意味をわかりやすい説明にしないとわからない。かいつまんで質問すること。司会者がとてもわかりやすく良好であった。
- 議会報告会を開催されたことに敬意を表したい。(与野党を問わず全議員が開催に向け真剣に取り組み、町民に議会活動の生の情報を提供できることは、町民にとって「キラリ」と光る議会の姿勢を高く評価)
- 特に感心した部分は、「郡選出の県議会議員との意見交換会」の開催をしていること。
- 県内町村議会のリーダー的な役割を果たしてくれることを切に希望する。

アンケート結果(抜粋)

●性別	男性	42人
女性	20人	
●年代	30〜40歳代	4人
50歳代	14人	
60歳代	28人	
70歳以上	16人	
●運営方法・評価	①開催日	平日 13人
土・日 19人		
いつでも良い 26人		
②開催時間帯	午後 16人	
夜 42人		
その他 1人		
③会場	1 力所 51人	
町内2〜3力所 9人		
その他 1人		
④時間	今回が良い 48人	
長かった 6人		
短かった 0人		
⑤資料の量	良い 46人	
多い 1人		
少ない 10人		
⑥説明の仕方	分かりやすかった 39人	
分かりにくかった 5人		
どちらとも言えない 14人		
⑦報告会の評価	評価する 47人	
どちらとも言えない 12人		
評価しない 0人		

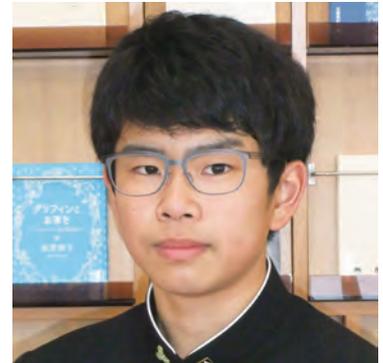


大切な精米所

僕の将来の夢は、米農家を継いでいくということです。僕の家には「精米所」があります。秋、稲刈りが終わった後、親戚一同集まって精米をする時期があります。僕は数年前から、ちょっとしたことで、精米の手伝いを始めるようになりました。一袋、30キロもあります。当時、小学生だった僕はとても持てませんでした。米をならしたり、こぼれた米を拾い集めたりする手伝いをしていました。

しかし、中学校に入って力もつき、少しずつですが持てるようになりました。とても嬉しい気持ちです。役に立っているという達成感があります。最近、人手不足ということを目にしますが、僕の手伝いによって、より沢山の精米が行われるのであれば、今ある「精米所」をつぶすわけにはいかないと考えています。

また、少しでも美味しい米ができるように、努力したいとも思っています。今まで耕され続けてきた土地を大事にして、米作りを継いでいくことが僕の夢です。



七百中学校 2年

とりこし ゆうたろう
鳥越 雄太郎 さん

自慢の農産物と町づくり



七百中学校 2年

はま だ ま お
浜 田 繭 央 さん

私は将来、この「六戸町」を少しでも有名にしたいと思っている。六戸町は、農業が盛んで、たくさんの農産物がある。特に「にんにく」は大きくて立派だ。他の市町村から引っ越してきた私は、六戸町で大きいにんにくが栽培されていることを知らなかった。もっと有名になってもおかしくないと思っている。にんにくは体にもいいし、食べることによって、最近言われている「短命県返上」にも役立つと思う。

にんにく生産と料理をつなげてアピールすることで、六戸町から短命県返上を目指すことはできないものかと、思うことがある。そうすれば、にんにくを作っている農家の人たちは、自信と希望をもって生産できると思う。

私が今願っていることは、県内外の人たちに、六戸町をもっとよく知ってもらいたいということだ。そこで、ささやかだが他市町村に住んでいる友達に、六戸町のすばらしさを折に触れて発信したいと、私は思っている。

編集後記

今年の冬は昨年とは違って雪が少なく、農作業も順調に進んでいるようです。

卯月(4月)桜の開花が待ちこがれる今日この頃です。

入学式も終わり新1年生がピカピカのランドセルを背に元気に通学しています。

私は「開知小安全ボランティア」の一員として朝、

登校の安全確保のため、通学路に立っています。皆元

気にあいさつをしています。皆元

気がいいです。友達をたくさん

送ってくださいます。

改選前、広報委員会発行の「議会だより」が最後になります。ご愛読ありがとうございました。

附田 輝 雄

議会広報委員会

委員長 河野 豊
副委員長 杉山 茂

委員 川村 重
下田 敏
高坂 重

発行責任者 附田 輝 雄
苦米地 繁 雄

議長 附田 輝 雄